

# 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8237
担当部課名	経済部	産業振興	課	産業政策 班
事務事業名	ロボフェスタ開催経費		事業コード	31110

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	立地特性を生かした産業の振興をめざします	事業開始年度
基本施策名	第1節	活力ある産業の振興	12 年度
施策名	第1施策	総合的な産業振興施策の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
青少年をはじめ多くの人々が科学技術を楽しみながら体験・理解できるようにロボット競技のオリンピックの開催が国で論議され、神奈川県がその主旨に賛同し今回の「ロボフェスタ」を開催することとなり、横浜市、川崎市、横須賀市、相模原市を会場に、県と4市の共同事業として実施した。相模原市は宇宙科学研究所を有し、全国の宇宙関連施設を有する市町と銀河連邦を形成していることから、宇宙関連の事業も含めて実施することになった。		青少年	
		対象数	
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
相模原会場での内容 テーマ 宇宙 - 新しいフロンティアへ 会期 2001年10月6日(土)～10月14日(日) 会場 相模原市銀河アリーナ 来場者数 155,145人(4会場合計 510,770人) 内容 ・スペシャルイベント「宇宙への夢を語る」 (宇宙飛行士・土井隆雄氏 他) ・神奈川中学生ロボット競技会 (参加 個人戦135チーム、団体戦30校) ・第13回全日本ロボット相撲関東大会 (参加 2,000人) ・小中学生対象のロボット競技会 ・最先端ロボットの紹介 等		(5) 個別計画の概要 計画名 計画年次 年度～ 年度	

4 評価指標

指標名			
指標式			
指標設定の意図			

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標			a	b		
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額		90,863	90,844		
	人員・時間数		4人	4人		
	人件費		33,680	33,680		
	その他経費					
	合計	0	0	124,543	124,524	0
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 A ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 =
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%> )	

$\frac{a}{b} \times 100 =$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
----------------------------	----------------------------	----------------------------

理由：

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由： 人間と科学技術の共生を目指して開催された本事業は、時代を先取りしたものであり、宇宙科学研究所の協力も得て、ロボット技術の活躍する可能性の一端を見ることが出来た。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A : 妥当である	理由： 多くの青少年が楽しみながら科学技術を体験・理解できる機会となった本事業は、将来に希望をつなげることにもなり、費用対効果は充分にあったと思われる。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 B ▼	A : 代替の可能性ない	理由： 小・中・高だけでなく大学も含め、また産業界を始め広い範囲での協力を必要とした本事業は、県と4市の共同事業で初めて可能となったものである。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 A ▼	A : 満足できる	理由： 本市では、ロボットと宇宙という多彩な事業を展開したことにより多くの参加を得、青少年に限らず科学技術への理解が深まり、宇宙への夢も広がったことと思われる。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 B ▼	A : 有効である	理由： 本事業からは継続して新たな事業展開は難しいが、今後、青少年と科学技術あるいは産業を考える場合の参考になるとと思われる。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> <p>本事業は、平成13年度で完結した。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p>

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		説明	
<input type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input checked="" type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点